



農都共生研究会
Agricultural laboratory

地域の資本を活かして、日本をもっと元気に、北海道をもっと明るくすることを目的としています。全国各地の地域づくりの成功例を調査し、農村と都市の共に繁栄するあり方を研究しています。さらに農村と都市の共生と交流の促進を提言し、各地の地域振興の具体的な組織と連携し、各種事業を実践します。

活動内容
研究会は次の活動を行う。

多様な活動主体の取組活発化に向けた活動
地域住民への普及・啓蒙に向けた活動
農村と都市の共生と交流推進方策の検討
農都共生に関わるビジネスプランの検討
その他研究会の目的を達成するために必要な活動

2017年度 活動報告〈抜粋〉

■8月8日

北海道アルバイト情報社
豊滝ファーム 視察訪問

農都共生研究会の幹事・伊藤新さん(北海道アルバイト情報社「いいね!農スタイル」担当)の案内により、北海道アルバイト情報社が運営する豊滝ファームを、研究会有志で視察訪問しました。トマト、ピーマンなどの収穫体験のあと、とれたてのトマト、ピーマン、ズッキーニなどをトッピングして、レンジで手作りのピザ窯で焼き上げたピザでランチタイム。まさに、農村でゆっくりと過ごすグリーンツーリズムを満喫する時間となりました。

農都共生の実践の素晴らしさを、より多くの方々に伝えていきたいと改めて感じたのでした。



■9月6～9日

慶應義塾大学大学院SDM研究科 アグリゼミ
北海道沼田町視察

2018年

■1月30日

「農都共生研究会 特別フォーラム」

■2月15日

第6回 農業・農村・活性化セミナー

■3月 報告書発行

Pick up 農都共生研究会 特別フォーラム

「農村で楽しもう」発刊記念

2017年度 農都共生研究会 特別フォーラム「農村で楽しもう」発刊記念として、1月30日(火)にアルキタイイベントスペースEditで開催しました。札幌の1月という足元の悪い時期にも関わらず、多くの事前申し込みと、当日の飛び入り参加も合わせ、定員50名のところ、67名の方にご参加いただき、会場は大変盛況な雰囲気となりました。

フォーラム前半は林美香子による新著書「農村で楽しもう」の執筆に関する話、取材の様子などスライドを使用して紹介しました。後半はSDMアグリゼミの視察を受け入れていただき、本の中でも紹介されている沼田町の金平町長に、町の現状、様々な取り組みを講演していただきました。その後、金平町長・林の対談形式で、会場からの様々な質問を受けました。参加された方々からは「写真も多くて素敵なお本だと思います。農家と生産者を繋ぐ取組みがもっと広がると良いと思います(30代女性)」「沼田町の取り組みには大変興味を持ちました(50代男性)」などの感想をいただきました。

フォーラムの最後に、沼田町の特産品が抽選で10名の方にプレゼントされ、こちらも大変好評でした。共催及び後援いただきました各社様、そしてご参加いただいた皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。



活動内容や掲載記事など、詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.noutokousei.jp/> 農都共生研究会 検索



System Design and Management

お問合わせ
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科
[日吉学生部SDM担当]

〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2階
TEL 045-564-2518 FAX 045-562-3502

<http://www.sdm.keio.ac.jp> E-mail sdm@info.keio.ac.jp

2018年3月発行

発行 / 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
農都共生研究会

企画・制作 / 株式会社プロコム北海道 [農都共生研究会事務局]
〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2-1 太平洋興発ビル
TEL 011-215-1317 FAX 011-215-1318
E-mail konno@procomh.co.jp

AGRILAB REPORT



農都共生ラボ活動報告書
2017 - 2018 農林中央金庫寄付講座



慶應SDMの「アグリゼミ」 北海道沼田町視察

AGRI Semi Report
農都共生研究会



System
Design
And
Management

